



診断のない大学生支援の最前線

キャリア支援プログラム

キャリアプロ

## 実践報告会2021

孤立やひきこもりを防ぐ  
途切れないサポートのしくみづくり

2022年3月21日（月・祝）  
一般社団法人サステイナブル・サポート



② 診断のない大学生支援の最前線

# 1. はじめに

キャリア支援プログラム

# キャリアプロ

「働く」を  
はじめる  
ために。

**ジョブゼミ**

就職活動が不安なあなたへ

これからの就活の進め方やコツを学び、  
社会に出る準備をはじめませんか？



ゼミ

「キャリアプロ」  
**BRIDGE**  
キャリア支援プログラム

キャリアサポートスペース

**BA-SE**  
ベース

「あなたらしさ」が見つかる場所

BA-SEは、高校・大学・専門学校を卒業（または中退）した  
18才～概ね30歳の方が利用できるキャリアサポートスペースです。  
就職活動はもちろん、休息したり、ゲームで遊んだり、  
多種多様なプログラムへの参加ができます。  
一人ひとりの目的に合わせて自由に過ごすことができる空間です。



診断のない大学生支援の最前線

# 目的・概要

キャリアプロは「働く」ことを切り口に、大学等を卒業後に**孤立**し、将来的に「無業」「ひきこもり」とならないよう、2つの**予防的支援**のプログラムを提供しています。

## ① 学生向けプログラム：ジョブゼミ・サークル

内容・・・就活の基本や実践的コミュニケーションを講座型で学ぶ「ジョブゼミ」と、参加者やボランティアとの交流が中心の「サークル」。就活が不安な学生や友達との交流機会が少ない学生が、ジョブゼミをきっかけにサークルに参加し、仲間とゲームやおしゃべりを楽しんでいます。学校/家庭以外の「相談できる場所」「安心できる場所」として、就活が不安な3～4年生のみならず、学校生活に苦戦している1～2年生の参加も大歓迎です。

## ② 既卒者向けプログラム：BA-SE

内容・・・高校や大学等を卒業/中退した若者を対象に、自由に利用できるキャリアサポートスペースです。スタッフに相談したり仲間とゲームしたり、一人で本を読んだりパソコンするのもOK。働く気持ちはあるけど具体的に動けない若者が、ひきこもりにならないよう、家庭以外に安心して居られる場所を提供しています。



## 課題の背景

大卒無業

約10人に1人 ※1

若年無業者

57万人 ※2

東海3県の未就職卒業生支援体制のある大学のうち、  
「学生と卒業後連絡が取れない」課題を抱える大学

90% ※3

※1 文部科学省 令和3年度学校基本調査（2021年）

※2 総務省 労働力調査（2021年）

※3 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 2020年度 東海3県・大学の就職状況に関する調査（2021年）

たとえ大学を卒業したとしても、社会の中で孤立し、困難な状況に陥るリスクを抱える現代社会。こうした背景には、大学における就労困難学生の実態把握や、無業のまま卒業する彼らを支える支援体制に課題があります。

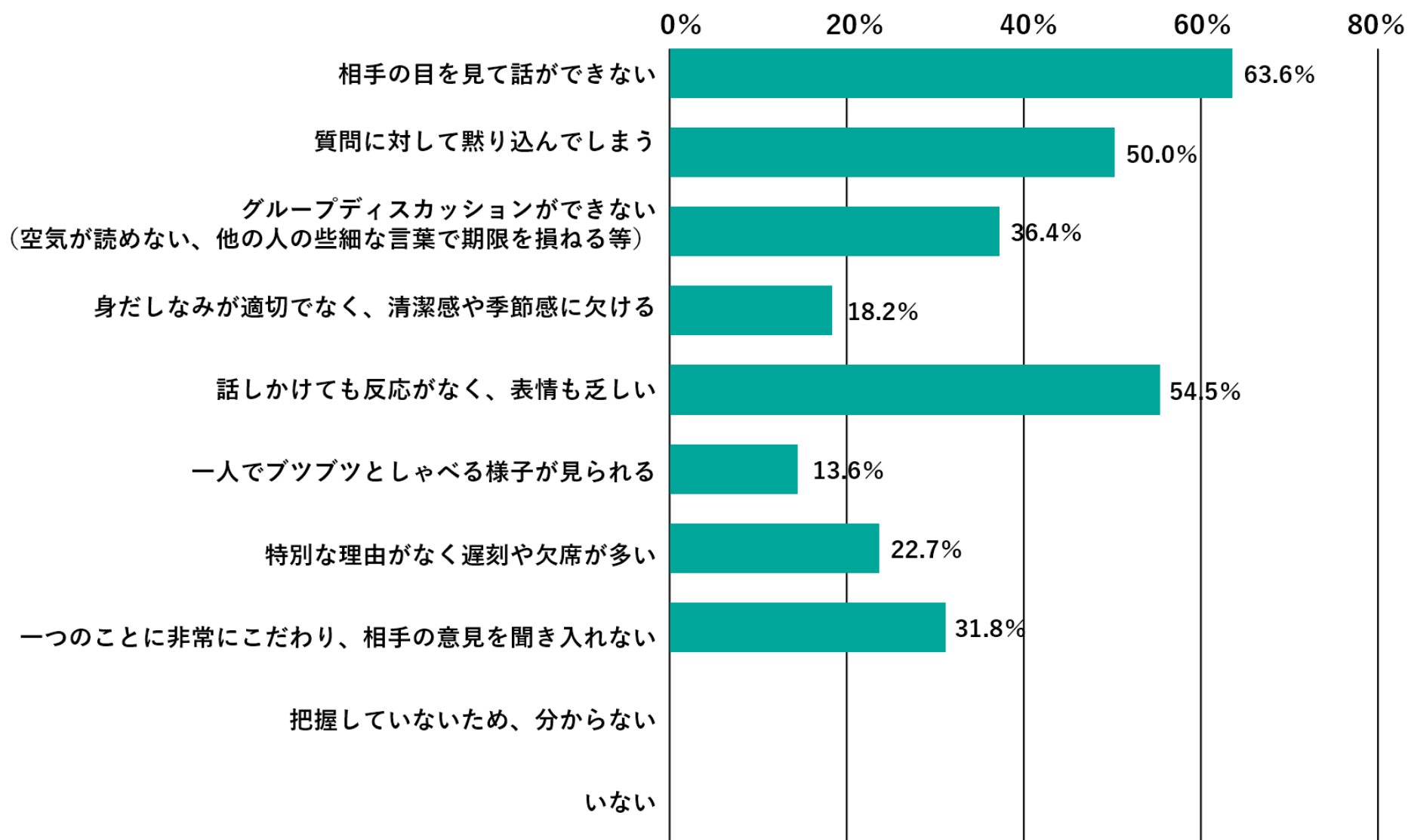


診断のない大学生支援の最前線

# 未内定学生の特徴

就労困難学生の中には、コミュニケーション力を理由に課題に直面する学生が存在しています。

## 未内定学生の特徴



(出所) サステイナブルサポート「就活困難学生の在籍状況に関するアンケート調査」(2019年度)



# 対象者像

就労困難学生の一部には、医師による診断書はないものの発達障害があることが推察される学生が存在しています。  
**近年、大学において障害学生支援の体制は整いつつありますが、支援の必要性があっても障害診断のない学生に対する支援体制は不十分です。**

発達障害の診断がない

知的障害者ではない

これまで適切な療育や支援を受けていない

## 社会性

現代の日本社会で期待される“社会人”としての役割に対し、言動・態度・スキルなどにおいて差異がある



## 自己理解

自己理解が乏しく特性への対処ができていない

働き方を探すことを通じて社会の中で生きる術を身に付けようとする学生・若者

## コミュニケーション

コミュニケーションに困難を抱え、孤立しがちである

## 価値観・認知の偏り

他者や社会に対する関心が薄く、価値観や認知の偏りが見られ、多様性の理解が乏しい



診断のない大学生支援の最前線

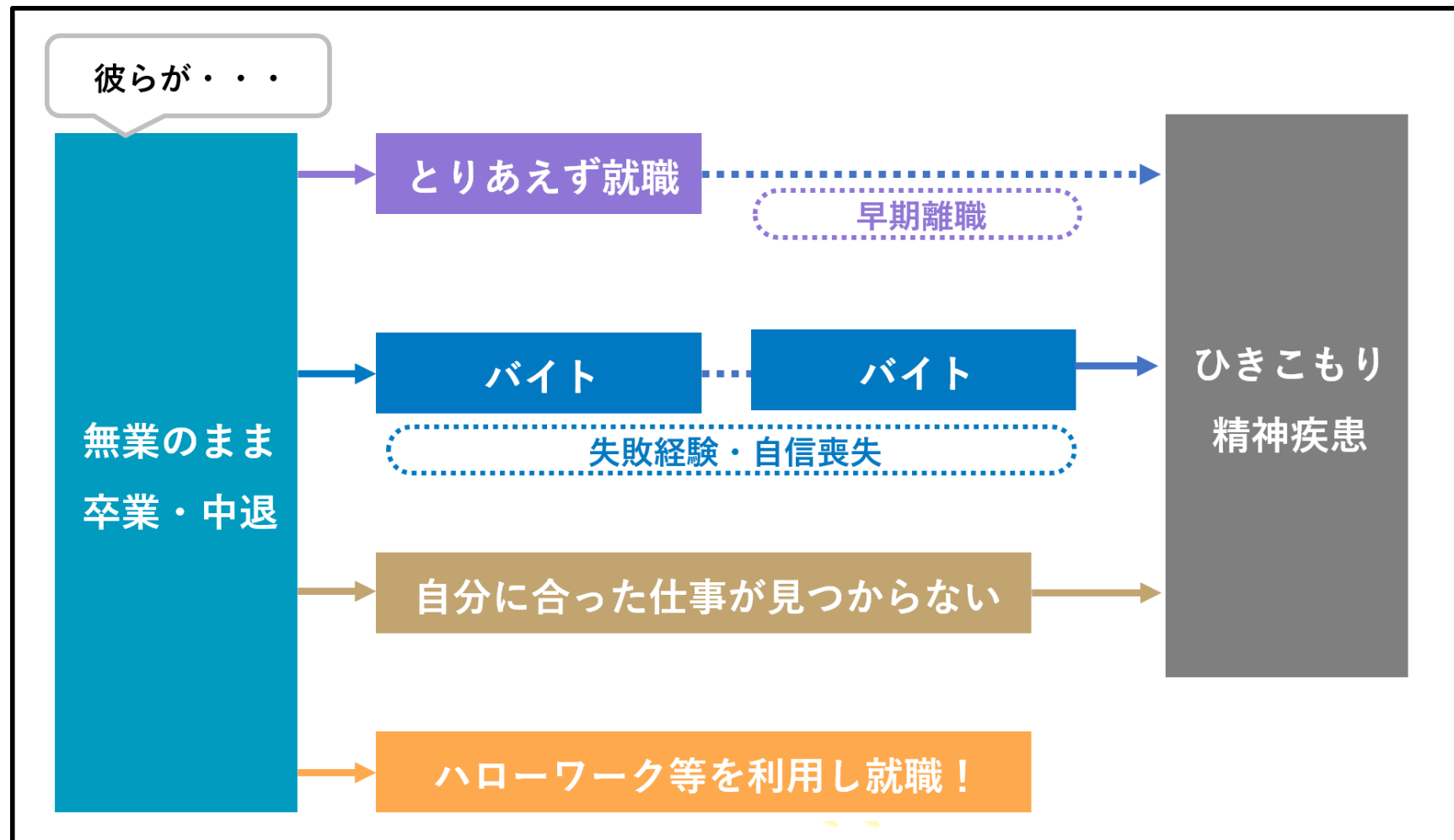


# 未内定学生の進路

無業のまま卒業した後、就職支援機関等を利用して自力で就職できる人はごく一部で、多くの若者は安定的な仕事に就けず、非正規雇用や仕事のミスマッチで丁寧な職業指導を受ける機会もなく、気持ちがちがすり減っていきます。

失敗体験を繰り返すことで自信を喪失し、社会参加意欲が減退することで、ひきこもりや精神疾患につながるリスクも高くなります。

**一度社会に出て所属を失うと、孤立するリスクが高くなります。こうした若者を放置せず、孤立させない仕組みが必要です。**





# 目指す状態

大卒無業者をはじめとする、若者の孤立を防ぐために必要なポイントは  
**「把握」「連携」「支援の仕組み」**

## 【困難学生を把握できる仕組み】

大学は、障害学生の把握はできていても、診断はないけど孤立するリスクの高い学生の把握ができていません。学校から社会への移行期で躓く学生の多くは、診断がない学生です。本人・家族からの支援の申し出がなくても、高リスク学生の把握に大学はつとめていく必要性があります。

## 【外部資源と連携して支援ができる体制】

ほとんどの大学においては、無業のまま卒業/中退した学生について、卒業/中退後のフォローが十分にできていない状態です。大学関係者の多くが、修学や就職活動に困難が見られる学生に対し、学内と学外の両方の支援があることがよいと考えています。大学から地域社会へ円滑に移行ができるよう、在学中から外部資源と連携して支援ができる体制の整備が望ましいと考えられます。特に、学内では実施のハードルが高い就労体験や、支援付きのアルバイト等の機会は、「支援よりも働く機会」を求めている学生にとって外部機関を活用するメリットとなり、連携のきっかけになると考えられます。





② 診断のない大学生支援の最前線

## 2. 2021年度実践報告



② 診断のない大学生支援の最前線

「働く」を  
はじめる  
ために。



**ジョブゼミ**

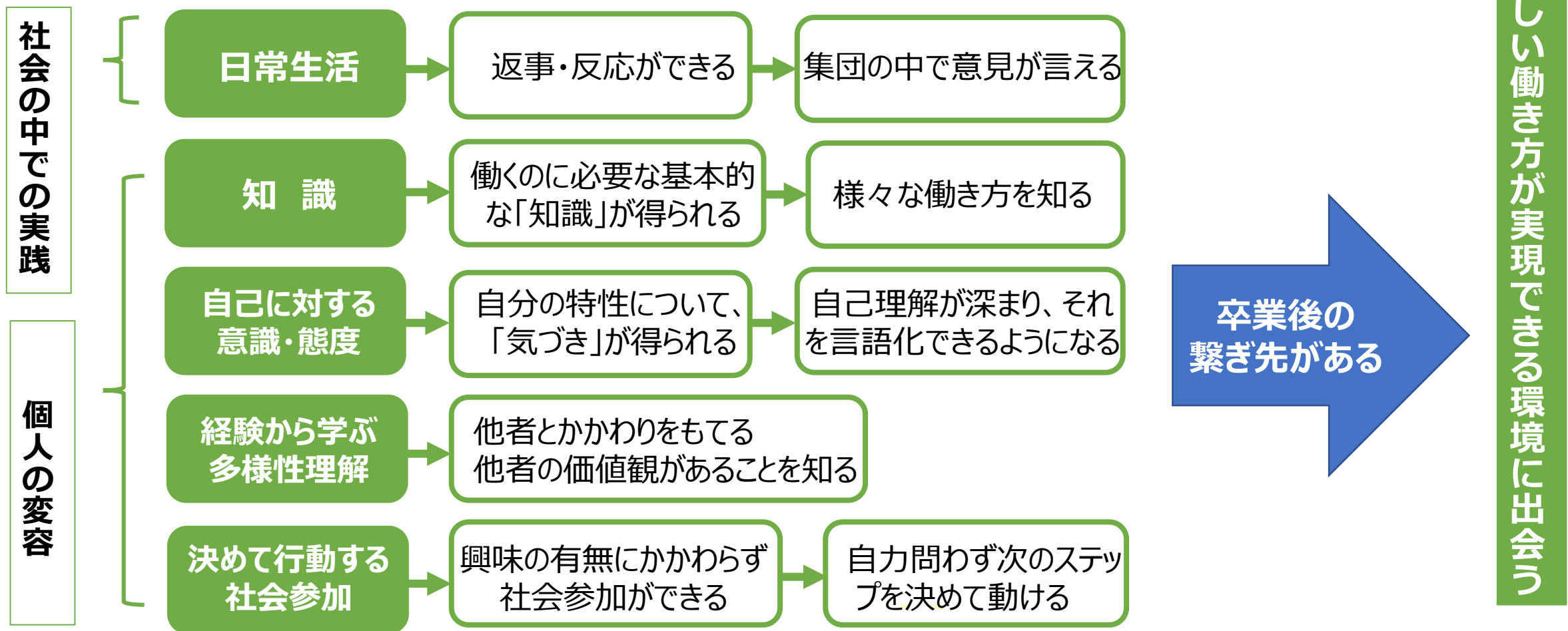
就職活動が不安なあなたへ

これからの就活の**進め方**や**コツ**を学び、  
社会に出る**準備**をはじめませんか？

## ■ 事業概要

主に大学生、専門学校生を対象に、働くための「基礎力」を身につけるプログラムです。

## ■ ロジックモデル



# ジョブゼミのプログラムと参加人数

## ①ジョブゼミ

7回開催  
のべ29人参加

## ②ジョブゼミα

5回開催  
のべ24人参加

## ③ジョブゼミサークル

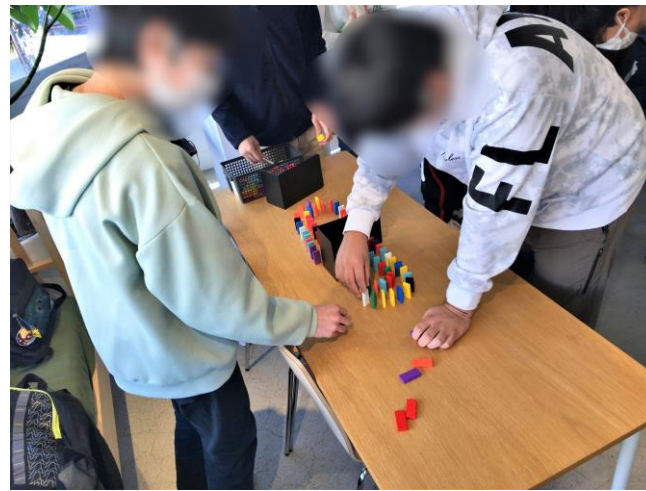
9回開催  
のべ30人参加

## 提供プログラム



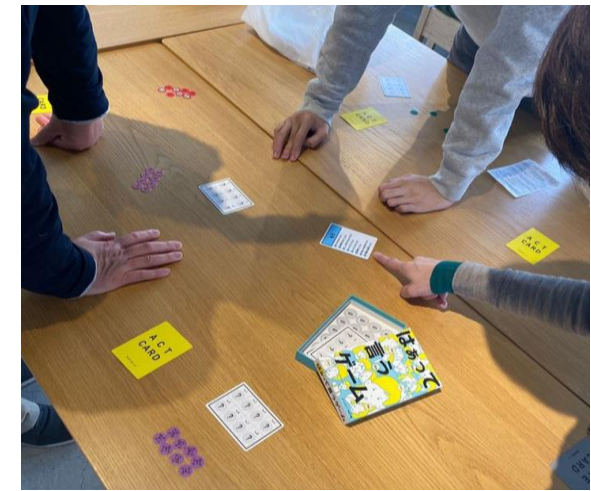
### 【内容】

- ・就活の流れを知る
- ・面接トレーニング
- ・ディスカッション対策
- ・ビジネスマナー
- ・ビジネス文書
- ・ビジネスメール



### 【内容】

- ・聞き方
- ・話し方・伝え方
- ・模擬インターンシップ
- ・チームビルディング体験
- ・グループダイアログ



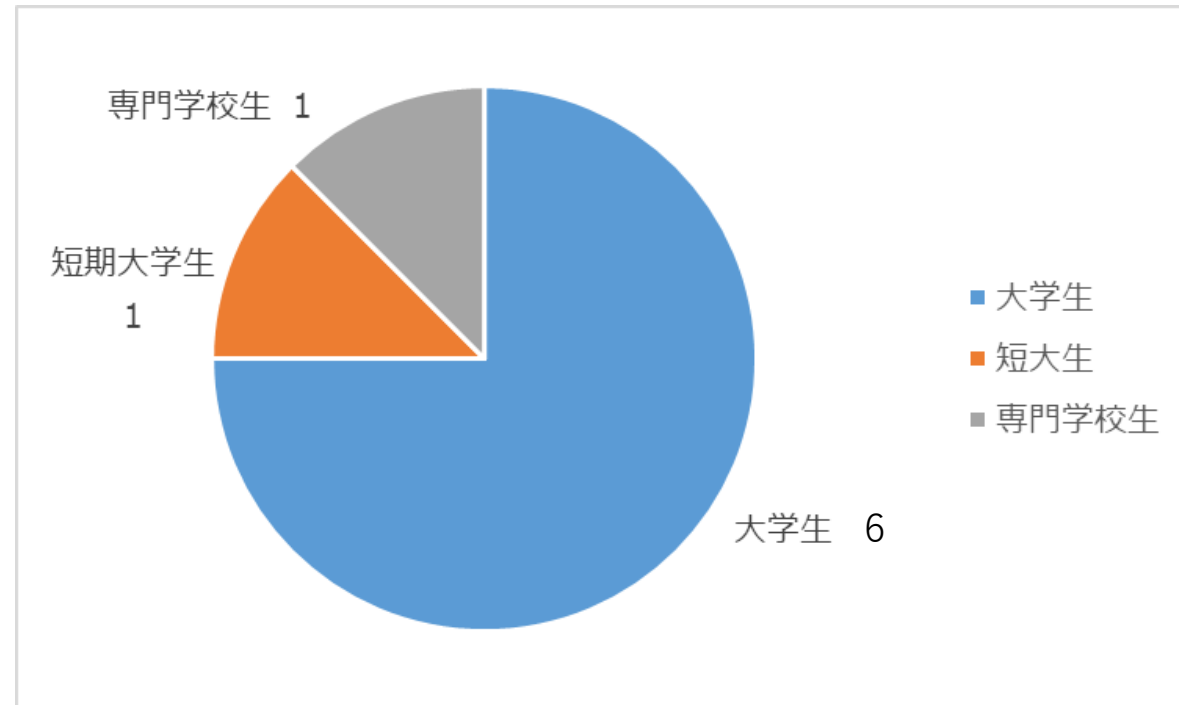
### 【内容】

- ・ボードゲーム
- ・カードゲーム
- ・トークゲーム
- ・レクリエーション（外出あり）



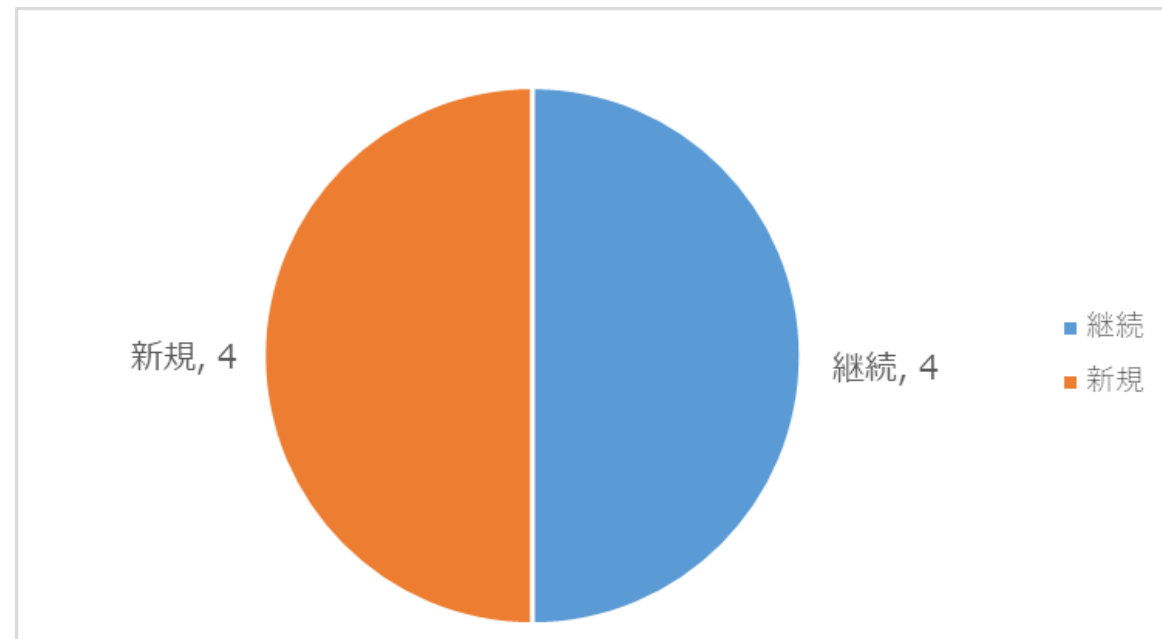
## ■参加者属性

大学生	6名
短大生	1名
専門学校生	1名



## ■新規・継続数

新規	4名
継続	4名

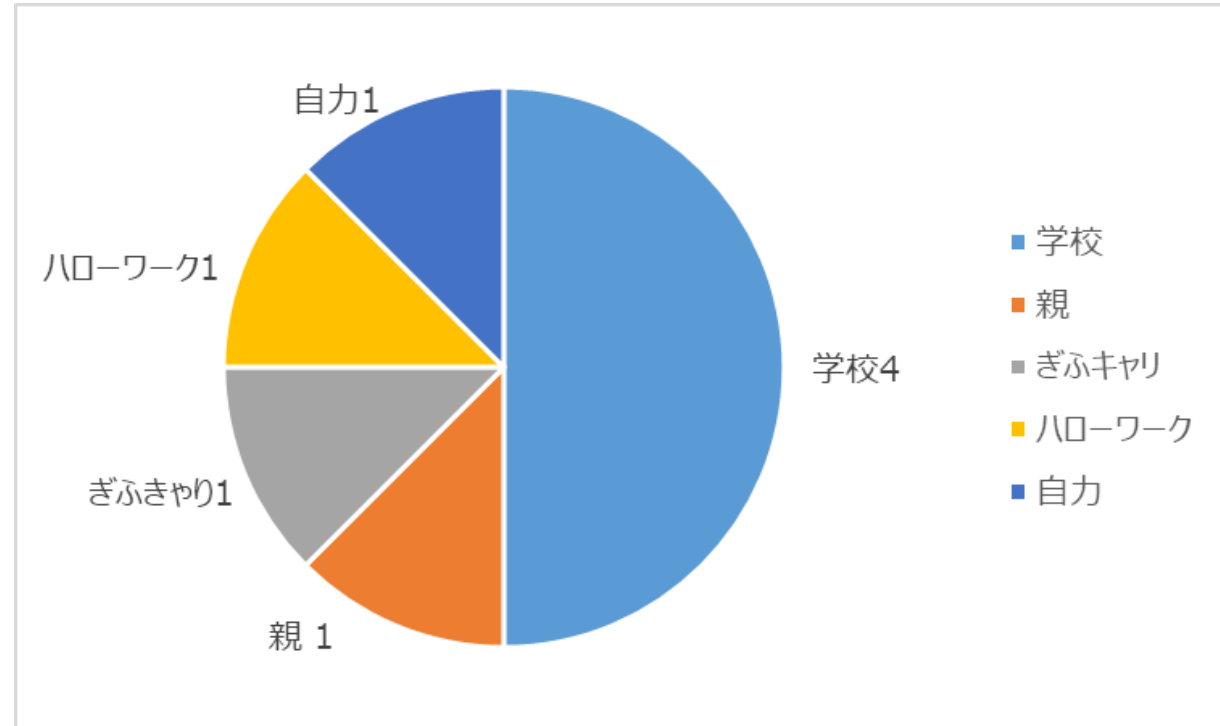


診断のない大学生支援の最前線

# 登録者内訳

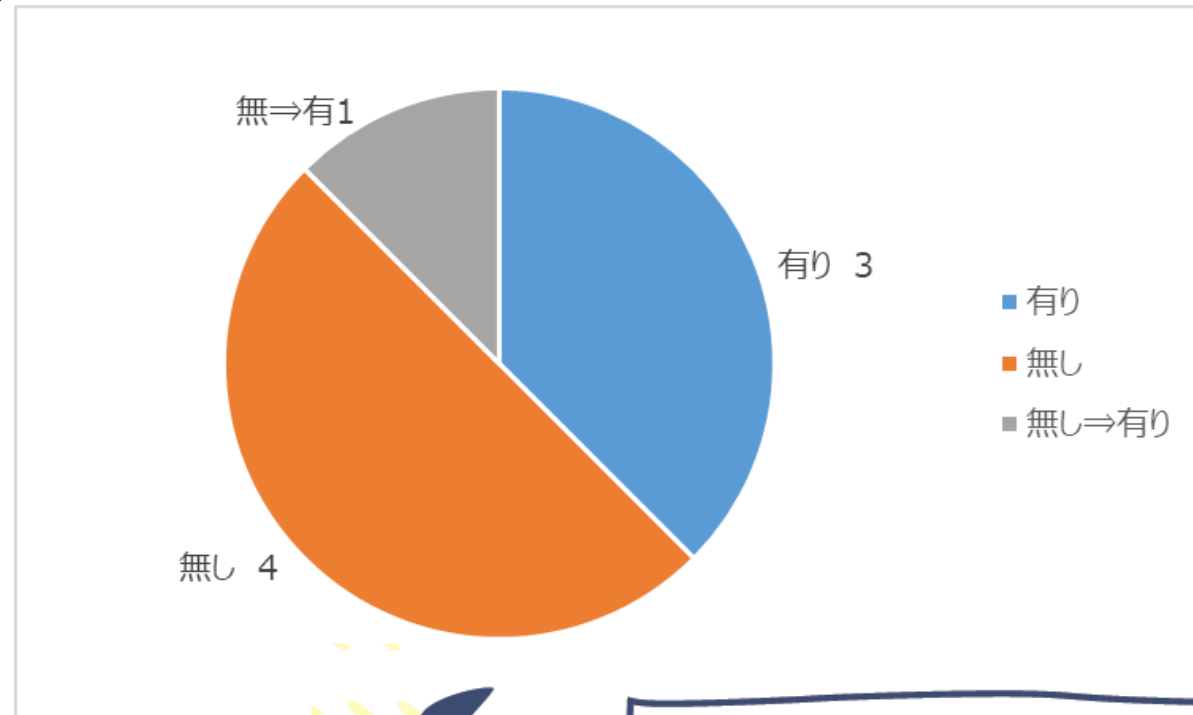
## ■ 紹介経路

①学校	4名
②親	1名
③ぎふキャリ	1名
④ハローワーク	1名
⑤自力	1名



## ■ 発達障害等の診断のありなし

有り	3名
無し	4名
無し⇒有り	1名



診断のない大学生支援の最前線

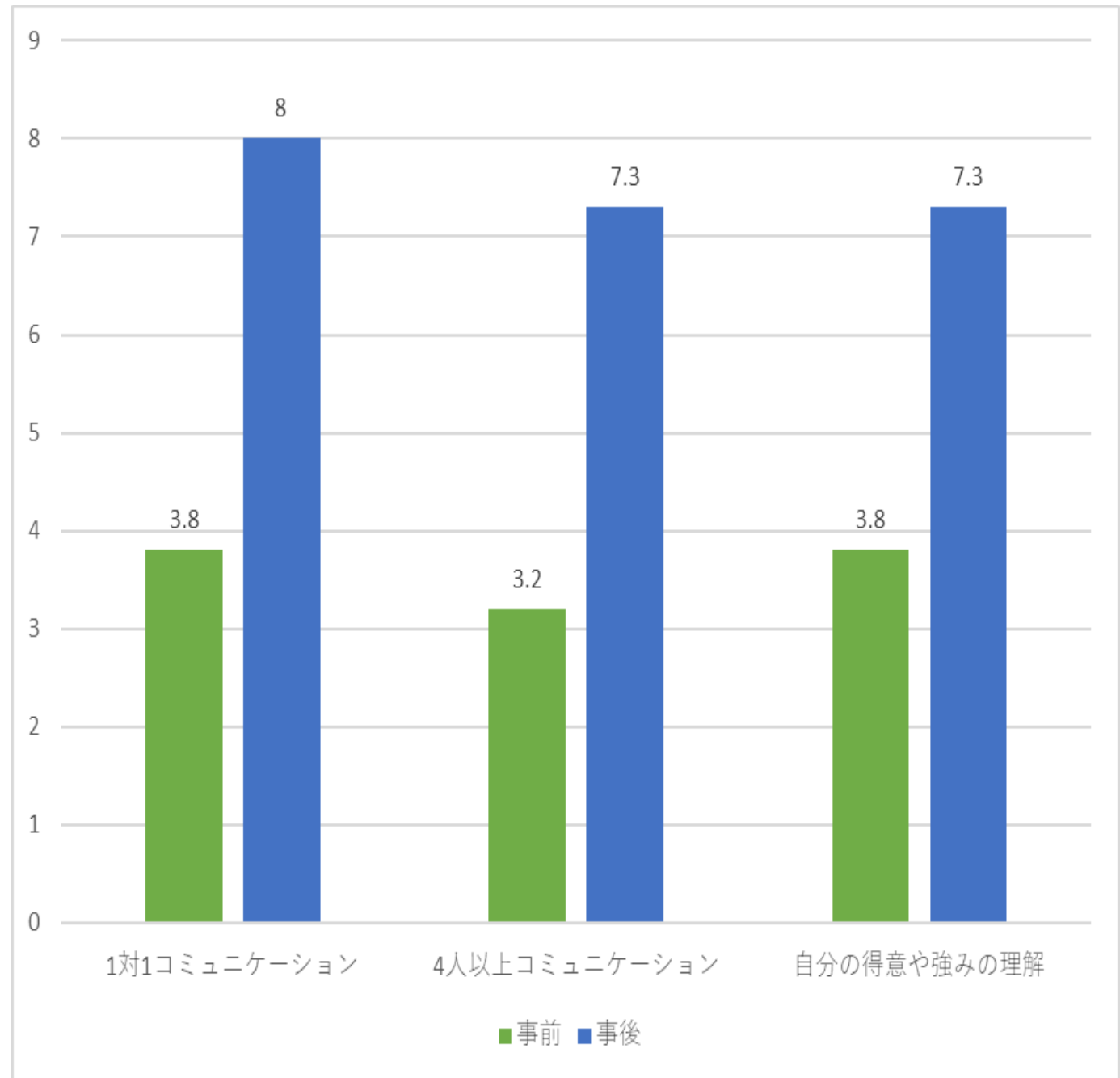


## ■ アンケート結果

キャリアプロ参加者に対し、登録時と最終日にアンケート、個別面談、グループダイアログを実施し、その変化を測った。

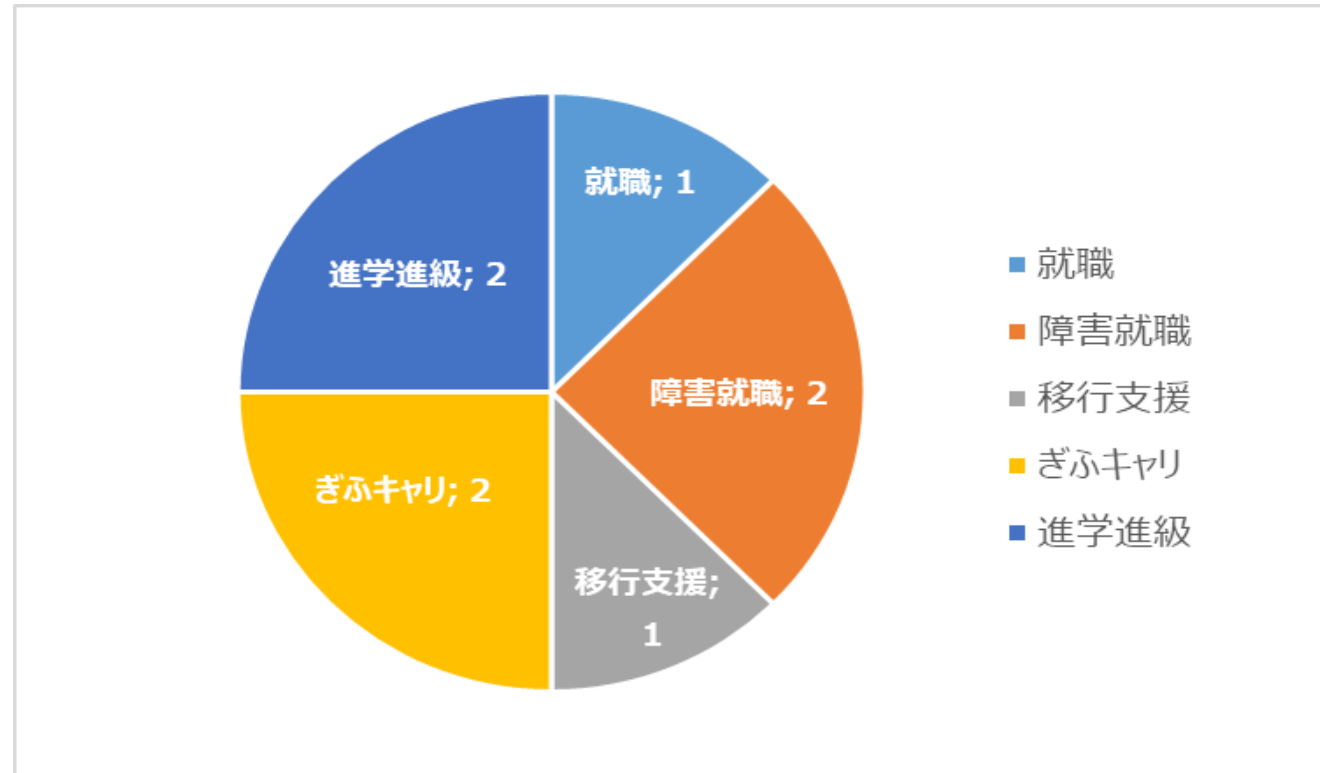
コミュニケーションスキルは全体的に上がっている。  
1対1、1対複数でのコミュニケーションスキルの向上が特に大きかった。  
また、自己理解も促進されていた。

一方、個人差があり、変化の少ない学生は、自分のことが好きでなかったり、得意や強みが分からないと答えている。このことから、自己肯定感の低さや親の無理解があると考えられる。



## ■進路

①就職	1名
②障害求人就職	2名
③就労移行支援	1名
④ぎふキャリア	2名
⑤進学進級	2名



## ■変化

障害求人にて就職した2名は、ジョブゼミに参加することで「就労意欲があがった」「以前より主体的に動けるようになった」と感想を述べている。また、当初本人が希望していた職種だけでなく実習体験ができたことで、職種を自ら選択することができた。

今年卒業を迎える就職未決定の3名については、全員その後のつなぎ先を見つけることができています。

1対複数のコミュニケーションを苦手とする学生は、ジョブゼミに参加しても、働くイメージがわきにくかったり、働く意欲の変化が感じられていない。しかし、その後のつながり先が無いよりも、提案できる場所があることで、そこへの参加意欲はえられていた。

**本年度の卒業学生は就職を含め、全員が次のつながり先が決定している**



# 次年度のプログラム

就活スタートラインに  
まず立ってみよう！

就活準備講座  
「ジョブゼミ」

とにかく人と話すのが苦手・・・

コミュニケー  
ション講座  
「ジョブゼミa」


学校以外で気軽に話ができる  
場が欲しい

学生向けサード  
プレイス  
「ジョブゼミ  
サークル」

無料で受けられるその他の  
サービス

- ・職業適性検査
- ・個別面談
- ・応募書類作成サポート
- ・面接トレーニング

## ■ 2022年実施スケジュール

日程	10:00-12:00	13:00-15:00
4月（随時）	参加希望者向け：個別面談・プログラム説明	
5月（随時）	参加希望者向け：個別面談・プログラム説明	
6月11日（土）	しごと体験（模擬インターンシップ）	 ジョブゼミ サークル
7月9日（土）	就活におけるビジネスマナー	
8月未定	実践！インターンシップ	
9月10日（土）	面接対策：よくある質問と答え方	
10月8日（土）	しごと体験（模擬インターンシップ）	
11月12日（土）	自己PR：自分の強みを見つけて伝える方法	
12月10日（土）	しごと体験（模擬インターンシップ）	
1月14日（土）	コミュニケーションスキルアップ講座	
2月11日（土）	チームビルディング体験	
3月11日（土）	グループダイアログ	



診断のない大学生支援の最前線



診断のない大学生支援の最前線

— キャリプロ —  
**BRIDGE**  
キャリア支援プログラム

—  
E  
ム

キャリアサポートスペース

**BA-SE**  
ベース

## 「あなたらしさ」が見つかる場所

BA-SEは、高校・大学・専門学校を卒業（または中退）した  
18才～概ね30歳の方が利用できるキャリアサポートスペースです。  
就職活動はもちろん、休息したり、ゲームで遊んだり、  
多種多様なプログラムへの参加ができます。  
一人ひとりの目的に合わせて自由に過ごすことができる空間です。

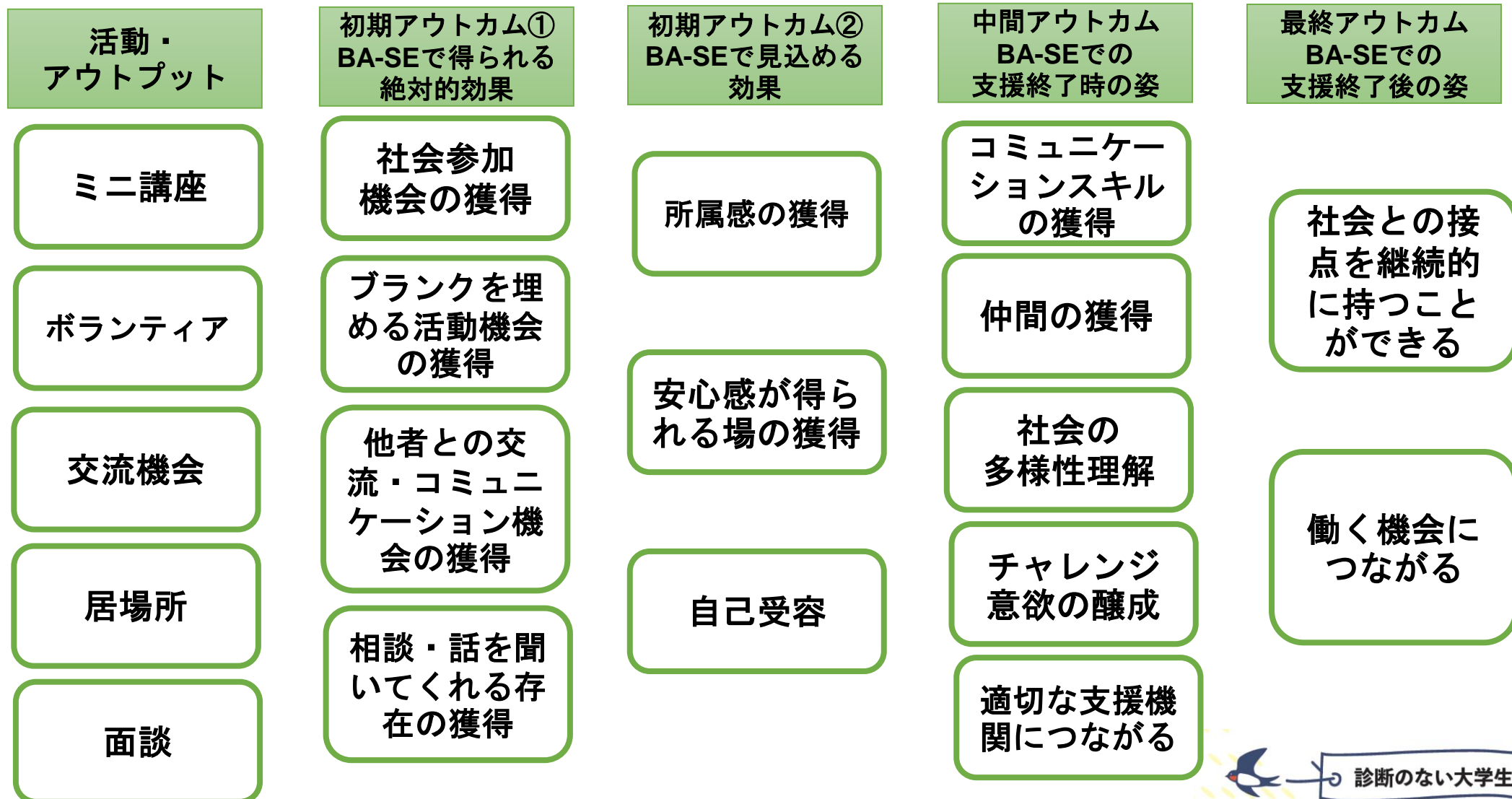
# BA-SEの目的と事業概要

## ■事業概要

大学等を卒業して所属を失った若者が自由に利用できるサードプレイスの提供

▶リラックスできる空間、ミニ講座、ボランティア機会、交流機会、面談

## ■ロジックモデル





# プログラムと参加者数

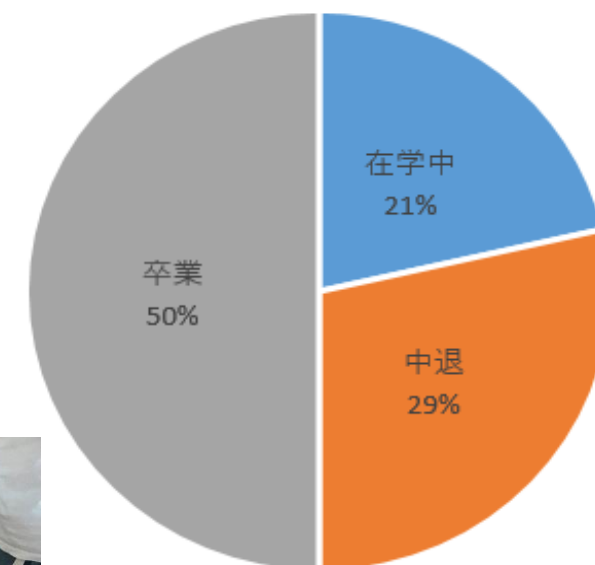
## ①ミニ講座

32回開催  
のべ80人参加

## ②プチボランティアアワー

13回開催  
のべ20人参加

## 参加者属性



## 提供プログラム



資格ナビ～中国語の基礎その他～実施の様子



プチボランティアアワーで作成した折り鶴



ボードゲームで交流

大学等卒業	7
中退	4
在学中	3

※①②は2022年3月17日までの実績

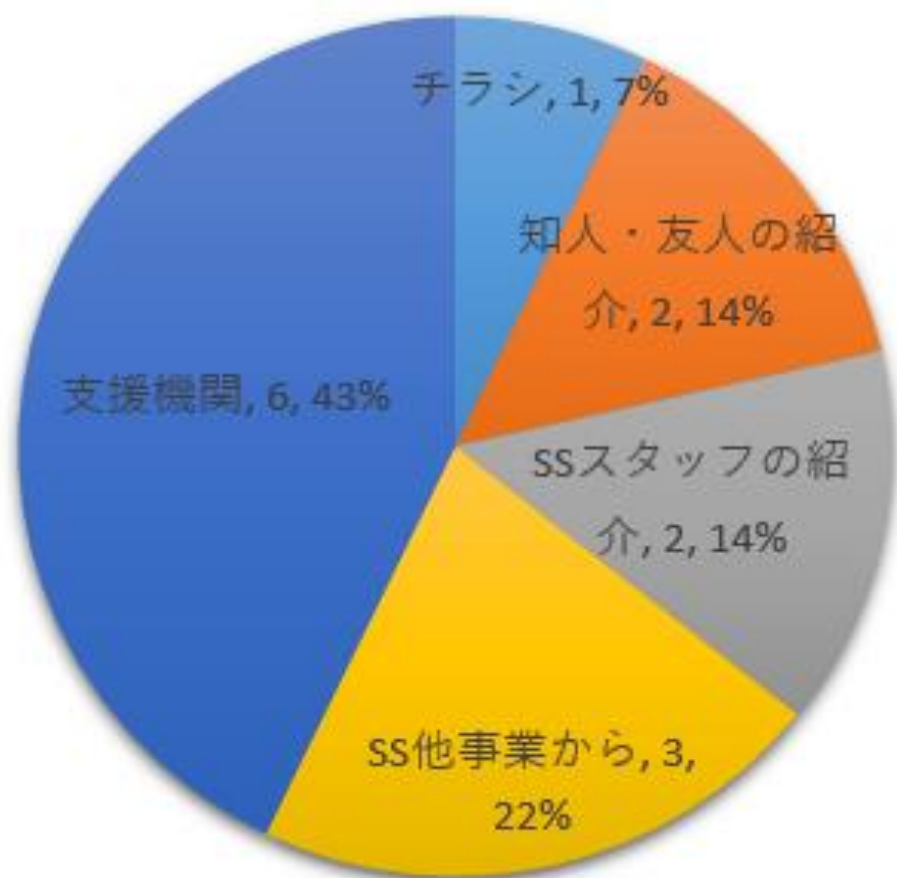


診断のない大学生支援の最前線

# 登録者内訳

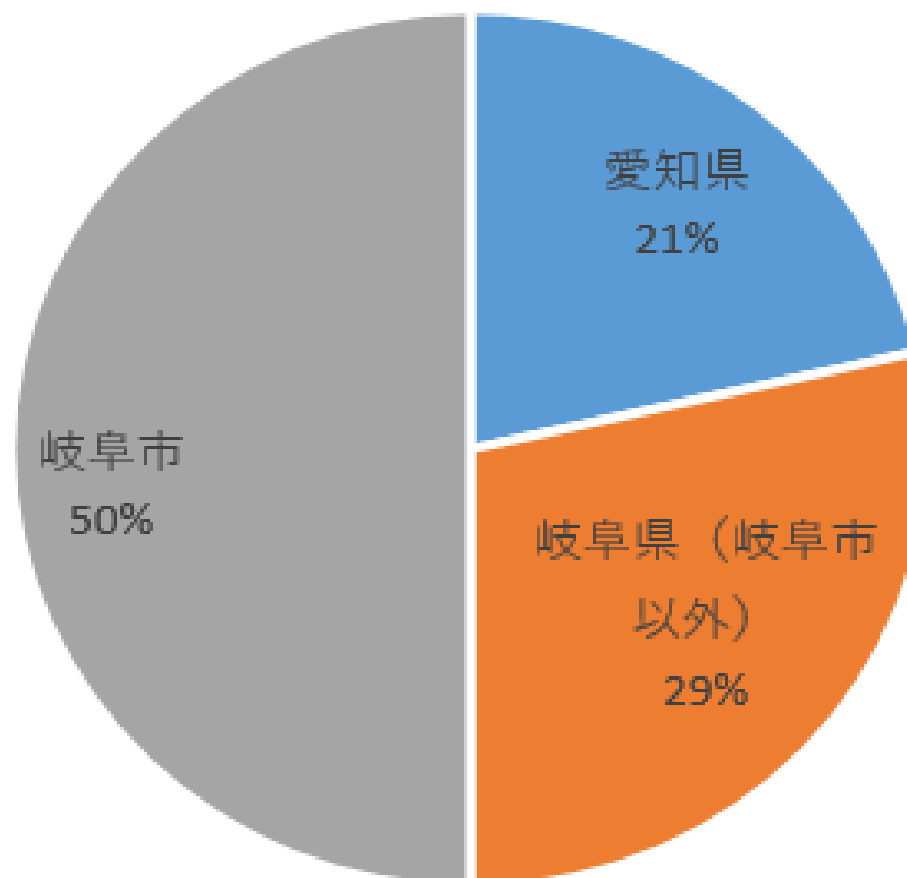
## ■紹介経路

支援機関	6
SS他事業	3
SSスタッフ	2
知人・友人	2
チラシ	1



## ■居住地

岐阜市	7
岐阜県（岐阜市以外）	4
愛知県	3



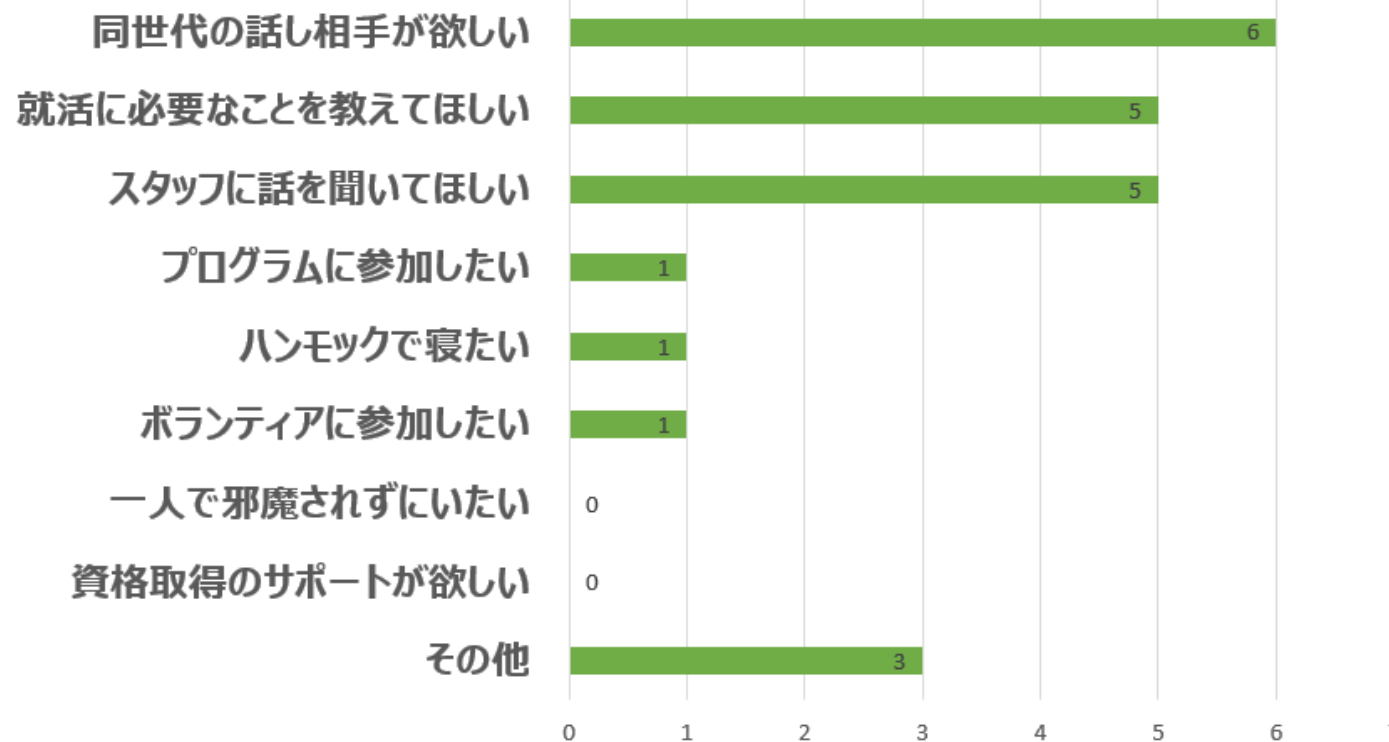


# 参加者の初期状態

## ■事前アンケート

- ・誰かと話したくてBA-SEに参加した登録者が多い。
- ・就活に必要なことを教えてほしいという要望も多かった。

BA-SEではどのように過ごしたいですか



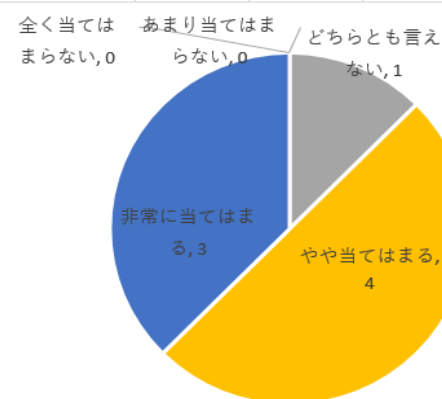
## ■状態

- ・自分から会話を始めない登録者が多かった。
- ・身だしなみに余り気を遣っていない者が多い印象。
- ・発話がほとんどなく、首を振る程度のコミュニケーションしか取れない者もいた。
- ・初めから一人で来所する者もいたが、支援者、家族と一緒に来所する者の方が多かった。



# 成果

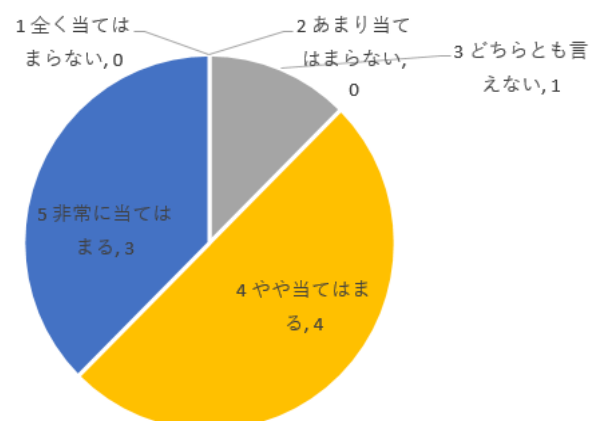
## ■BA-SEの一員であることを実感できている



非常に当てはまる + やや当てはまる  
87.5%

所属感の  
獲得

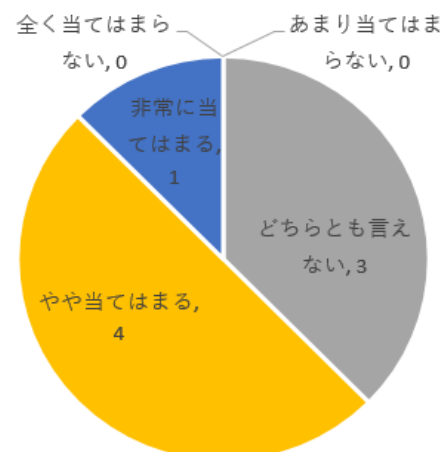
## ■頼りにできる人がいる



非常に当てはまる + やや当てはまる  
87.5%

安心感が得られる場の獲得

## ■自分の能力や良さを活かせていると感じる



非常に当てはまる + やや当てはまる  
62.5%

自己受容



診断のない大学生支援の最前線

# 次年度のBA-SEについて



**次年度もBA-SEは  
岐阜市美殿町40矢沢ビル3階で  
月・木の13:00~17:00に  
実施します！**



診断のない大学生支援の最前線

## ① ジョブゼミ



## ② BASE



## ③ ぎふキャリア

2021年6月スタート  
現在の登録者数10人  
単発ケア付アルバイト  
のべ参加人数31名



### 【内容】

- ・ケア付き単発アルバイト
- ・個別面談
- ・働く準備講座（オンデマンド）
- ・企業見学やインターンシップ

## ④ 就労移行支援事業所



大学卒業見込みの学生  
であれば、利用可能  
担当支援員がつきます  
※利用条件有り  
「ご相談ください！」

### 【内容】

- ・就職準備プログラム
- ・リフレッシュプログラム
- ・個別カウンセリング・保護者対応
- ・レクリエーションプログラム
- ・職場実習サポート



診断のない大学生支援の最前線



## 3. インタビュー

**「大学における具体的対応と地域との連携を考える」**





# 診断のない大学生支援の最前線

登壇者



**安田和夫氏**  
(岐阜聖徳学園大学)



**稲葉政徳氏**  
(岐阜保健大学)

インタビュー



**後藤千絵**  
(サステイナブル・サポート)



## 4. クロージング

**「大学生支援の必要性、  
今後の展望と展開について」**





診断のない大学生支援の最前線

**本日はご参加いただきありがとうございました。**

**アンケートにご協力ください。**

**<https://forms.gle/6RFjzrPeZgZprUYCA>**

